舞鶴小学校 学校だより	友の手を引く	２０１９年度 ７月１９日 文責 校長　渡邉　豪

※学校だよりのタイトル『友の手を引く』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。

地域連携あいさつ運動実施

本校では，日常的にあいさつ運動の推進に取り組んでいます。その取り組みの一つに昨年度より実施している，「地域連携 朝のあいさつ運動」があります。本校職員と地域や保護者の皆様と共に取り組みます。西中学区三校（舞鶴小，池田小，西中）の連携事業としての位置づけでもあります。

今年度は，１学期に６月１８日（火）～２１日（金），２学期に１１月１９日（火）～２２日（金），３学期に２月４日（火）～７日（金）の各学期４日ずつ実施します。時間は７：５０～８：１０で，集合場所及び実施場所は舞鶴小学校児童玄関前です。保護者の方には，学校から通知で参加を募り，地域の方には自治会の回覧板で周知しながら参加のお願いをしています。２学期以降の日程を検討していただき，ぜひ「地域連携 朝のあいさつ運動」にご参加をお願いします。

あいさつ運動当日，地域の方や保護者の方が集まり，本校職員も加わりながら「地域連携 朝のあいさつ運動」が始まりました。登校し昇降口へ向かってくる子どもたちは，いつもと違う光景に少し戸惑いながらも，参加者の方々の顔を一人ずつ確認し，元気良く丁寧にあいさつしていました。中には，参加してくれた方全員の前に行って，丁寧にあいさつする子もいました。やはり学校と家庭・地域の連携した活動というのは，大切だと改めて感じました。

第4回 朗唱・音楽集会

７月１０日の朝，体育館にて「第４回　朗唱・音楽集会」が行われました。朗唱・音楽集会は，前半に詩や古文等を朗唱し，後半に「今月の歌」を全校で歌います。朗唱集会のねらいは，［①全校児童が声を合わせて朗唱することにより，朗唱の楽しさを知る。②詩や百人一首などにふれ，朗唱への興味・関心をもち，豊かな心を育てる。］です。音楽集会は，［全校で一緒に歌を歌ったり身体表現をしたりする共通の体験を通して，愛唱歌を増やすと共に，音楽の楽しさを味わわせる。］です。

朗唱については今回は高学年の発表で，発表内容は「論語」でした。５年生の「これから，高学年の発表をはじめます。」の言葉から始まり，５・６年生で「論語」を朗唱しました。朗唱の合間には，「論語」についての分かりやすい説明を行い，聴いている下級生にも内容が伝わるように配慮していました。感心したのは，朗唱と説明をすべて暗記していて，大きな声で堂々と発表できたことでした。聴いていて「さすが高学年。学校を引っ張っていくリーダーだ。」と誰もが思う内容でした。

次に音楽では，「U ＆ I」を全校で歌いました。全校で気持ちを一つにしての合唱。朝から爽やかな気持ちになり，今日がより良い１日になる，そんな思いを抱かせてくれる歌声でした。２学期には中学年，３学期には低学年が，朗唱の発表をする予定です。その日が，待ち遠しいと思わせてくれる集会でした。

さあ夏休み。私たち大人も心構えを

〇きちんと「叱る」ことの大切さ

・ほめられればがんばるけれど，叱られたらすねてしまう子供にしてはいけません。

誉めることが基本ですが，きちんと「叱る」こともとても大切だと思います。「怒る」ではなく「叱る」。その時に，まずいところを真っ正面から叱る。気持ちが落ち着いたら，なにが悪かったのかがわかるように諭す。良くないのは，①感情のままに怒鳴り散らす　②怒りながら以前のことを持ち出して怒る　③兄弟やほかの子と比較しながら怒る　思春期で反抗期まっただ中でも，ダメなことはダメ。大人として自信をもって叱る。子供も心の中では，きちんと叱ってもらいたいと思っています。

〇学ぶことの大切さ

・学ぶことの大切さや意義を教えるのは学校だけではありません。大人の意識が子供に大きな影響を与えます。

漢字の読み書きができて，基本的な計算ができればいい。難しい数学や理科が大人になって必要なわけない，などという発言は厳禁です。学ぶことに対する意識を低下させる原因にもなります。学ぶことをやめた子供は，考え方がネガティブで自己肯定感が低くなりがちです。たとえ理解できない部分があっても，学ぶ意欲がある子供は心配いりません。自分の道をしっかり地道に歩んでいきます。

〇やりきることの大切さ

・どんな小さなことでも，はじめたら最後までやりきらせる。そして，褒める。この積み重ねが自己肯定感を高め，子供の粘り強く物事に取り組む力を育てます。

犬の散歩，後かたづけなどの手伝いや家庭学習など，子供が何かはじめたら最後までやりきらせましょう。子供の努力している様子を見ていて，褒めたり，励ましたりしながら見守ります。小さなことでもやり遂げて，充実感や成功体験を味わっていくことが自信となり，さらに困難なことへ挑戦する力となります。

〇子どもの本当の良いところを認め，誉め，抱きしめることの大切さ

・子どもを観る位置をいつもより少し変えて，客観的に観てみると違った良い部分が見えてきます。そこを誉め，抱きしめてあげましょう。必ず子どもは伸びていきます。

子どもが持っている良い部分を認め誉めていくことが，その子の自己肯定感を高め，様々なことに挑戦していくエネルギーになります。たとえ失敗しても，お父さんやお母さんはきっと自分を責めるのではなく，支えてくれる。その思いが子どもを成長させていくと思います。

学校閉庁日の試行について

保護者の皆様には先日，『学校閉庁日の試行について』という通知を配布しました。夏季休業中の８月１３日（火）１４日（水）１５日（木）の３日間と県民の日である１１月２０日（水）の４日間を，今年度市内すべての小中学校で学校閉庁日とします。これは，学校の多忙化解消をねらいとした甲府市教育委員会の取り組みです。

★この４日間は，学校に職員はいません。

★緊急時の連絡は，甲府市教育委員会学校教育課（055 － 223 － 7321）へ連絡をお願いします。